

# 社会資本総合整備計画書

(第5回変更)

(愛知県・安城市)

令和2年3月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (低炭素まちづくり計画 地域活性化)

令和2年 3月 3日

計画の名称	安心・快適な、賑わいあふれるエコまち“あんじょう”							重点配分対象の該当									
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	安城市														
計画の目標	低炭素まちづくり計画に基づき、市街化区域内の都市機能を集約すべき区域で「安心で快適な、コンパクトシティ型都市基盤の整備」や「コンパクトで賑わいあふれる都市・地域拠点の形成」を実施し、低炭素化を通じた「安心・快適な、賑わいあふれる」まちの拠点を形成する。また拠点を発信源に、市全体で低炭素化を促進させ、持続可能な「安心・快適な、賑わいあふれるエコまち“あんじょう”」の形成を目指す。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設利用者数 (人/年) : 地域力を育む教育文化機能を中心市街地へ集約再配置することにより、拠点施設の利用者数を401,400人(H27) から445,000人 (H31)に増加</li> <li>・安全・安心生活エリアカバー率 (%) : 市街地整備事業施行面積のうち、老朽した密集市街地の解消など都市基盤の整備により、安心して暮らすことができる生活エリアを83% (H27) から88% (H31)に拡大</li> <li>・コミュニティバス利用者数 (人/年) : 都市機能の集約配置による都市拠点の強化により、公共交通機関を利用した都市・地域拠点への来訪者数を134,500人(H27) から157,300人 (H31)に増加</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考									
						当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)									
■拠点施設利用者数 (人/年) ※都市機能の集約効果 教育文化・市民交流拠点である拠点施設の年間利用者数 (人/年)						401,400 人/年	-	445,000 人/年									
■災害等に対して備えのできた安全・安心生活エリア (整備された幅員6m以上の道路の道路端から一定距離 (概ね幹線道路: 50m、区画道路: 30m) のエリアを調査し、拠点の市街地における市街地整備事業施行面積の合計に占める割合 (%) ※都市基盤の整備効果 安全・安心生活エリアカバー率 (%) = (安全・安心生活エリア) / (市街地整備事業施行面積)						83%	-	88%									
■コミュニティバス利用者数 (人/年) ※賑わい・人の集積 都市拠点 (JR安城駅周辺)、地域拠点 (JR三河安城駅、名鉄新安城駅、名鉄桜井駅) 内の主要バス停における利用者数 (人/年)						135,900 人/年	-	159,700 人/年									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	13,511 百万円	A	12,961 百万円	B	-	C	550 百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.1%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	街路	一般	安城市	直接	安城市	安城桜井駅周辺地区 ( (都) 安城蒲郡線ほか7路線)	区画整理 A=93.8ha	安城市						1,678	-	-	
1-A-2	街路	一般	安城市	直接	安城市	安城南明治第一地区 ( (都) 安城碧南線ほか4路線)	区画整理 A=16.7ha	安城市						1,177	-	-	
1-A-3	街路	一般	安城市	直接	安城市	安城南明治第二地区 ( (都) 安城幸田線ほか2路線)	区画整理 A=3.3ha	安城市						83	-	-	
1-A-4	都再区画	一般	安城市	直接	安城市	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=93.8ha	安城市						2,043	-	-	
1-A-5	都市再生 整備計画	一般	安城市	直接	安城市	安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業 (地方都市リノベーション事業)	安城駅都市拠点地区 A=305.2ha	安城市						3,399	-	-	
1-A-6	都再区画	一般	安城市	直接	安城市	安城南明治第一土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=16.7ha	安城市						4,233	-	-	
1-A-7	都再区画	一般	安城市	直接	安城市	安城南明治第二土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=3.3ha	安城市						348	-	-	
合計												12,961					
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
1-C-1	施設整備	一般	安城市	直接	安城市	-	公園整備事業 ( (仮称) 明治本町地内公園)	広場、運動施設等の整備 A=5,000㎡	安城市						236		
1-C-2	施設整備	一般	安城市	直接	安城市	-	公園整備事業 (桜井駅周辺地区)	公園施設整備 N=2箇所	安城市						54		
1-C-3	施設整備	一般	安城市	直接	安城市	-	都市機能集約整備事業 ( (仮称) 子ども発達支援センター)	(仮称) 子ども発達支援センター整備 A=3,973㎡	安城市						172		
1-C-4	施設整備	一般	安城市	直接	安城市	-	都市基盤強化事業 (安城拠点区域)	公園リニューアル N=2箇所	安城市						78		
1-C-5	活動支援	一般	安城市	直接	安城市	-	まちなみづくり協定等策定支援事業 (南明治地区)	まちなみづくり協定等の策定支援	安城市						10		
合計												550					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	安城南明治第一地区（（都）安城碧南線ほか4路線）（1-A-2）、安城南明治第二地区（（都）安城幸田線ほか2路線）（1-A-3）、安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業（地方都市リノベーション事業）（1-A-5）、安城南明治第一土地区画整理事業（1-A-6）及び安城南明治第二土地区画整理事業（1-A-7）とあわせて整備することで、災害に強く、安心で快適なコンパクトシティ型都市基盤の整備が効果的に進み、安心して暮らすことができる生活エリアの拡大と地元住民の新たな交流機会の創出が期待できる。	
1-C-2	安城桜井駅周辺地区（（都）安城蒲郡線ほか7路線）（1-A-1）及び安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業（1-A-4）とあわせて整備することで、安心で快適なコンパクトシティ型地域拠点の形成が効果的に進み、安心して暮らすことができる生活エリアの拡大と地元住民の新たな交流機会の創出が期待できる。	
1-C-3	安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業（地方都市リノベーション事業）（1-A-5）とあわせて必要な都市機能である子育て支援機能を中心市街地に集約配置することで、中心市街地のコンパクトで賑わいのある都市拠点の形成が効果的に進み、市民の新たな交流機会の創出が期待できるとともに、既存ストック（現中央図書館施設）を効果的に活用でき、都市機能の拡散の抑止につながる。	
1-C-4	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業（1-A-4）及び安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業（地方都市リノベーション事業）（1-A-5）とあわせて実施することで、快適なコンパクトシティ型都市基盤の整備が進み、都市・地域拠点区域の魅力向上によるまちなか居住の誘導・定着を一層促進することが期待できる。	
1-C-5	安城南明治第一地区（（都）安城碧南線ほか4路線）（1-A-2）、安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業（地方都市リノベーション事業）（1-A-5）及び安城南明治第一土地区画整理事業（1-A-6）とあわせて実施し、地域住民が主体となるまちなみづくり協定等策定の支援を行うことで、災害に強く、安心で快適なコンパクトシティ型都市基盤の再編を確実に進め、基幹事業の進捗・効果を一層促進させるとともに、まちなか居住の誘導・定着を促進することが期待できる。	

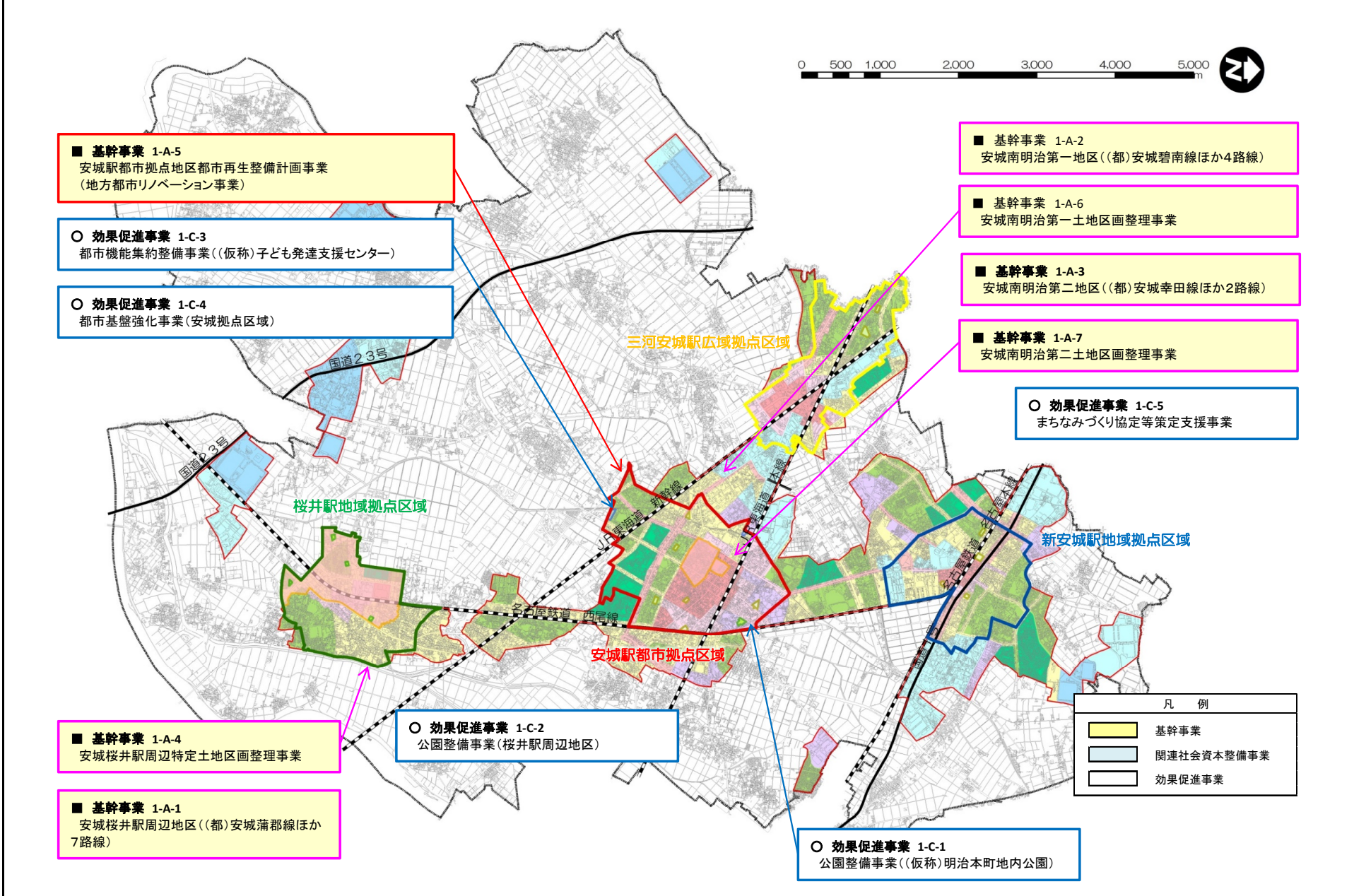
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	998.082	2,844.860	1,856.468	166.930	1,153.500
計画別流用 増△減額 (b)	9.258	0	△ 520.584	0	△ 762.300
交付額 (c=a+b)	1,007.340	2,844.860	1,335.884	166.930	391.200
前年度からの繰越額 (d)	0	153.208	327.771	276.390	20.132
支払済額 (e)	854.132	2,670.297	1,387.265	423.188	372.812
翌年度繰越額 (f)	153.208	327.771	276.390	20.132	38.520
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	-

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	安心・快適な、賑わいあふれるエコまち“あんじょう”		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	安城市



■ 基幹事業 1-A-5  
安城駅都市拠点地区都市再生整備計画事業  
(地方都市リノベーション事業)

○ 効果促進事業 1-C-3  
都市機能集約整備事業((仮称)子ども発達支援センター)

○ 効果促進事業 1-C-4  
都市基盤強化事業(安城拠点区域)

■ 基幹事業 1-A-2  
安城南明治第一地区((都)安城碧南線ほか4路線)

■ 基幹事業 1-A-6  
安城南明治第一土地区画整理事業

■ 基幹事業 1-A-3  
安城南明治第二地区((都)安城幸田線ほか2路線)

■ 基幹事業 1-A-7  
安城南明治第二土地区画整理事業

○ 効果促進事業 1-C-5  
まちなみづくり協定等策定支援事業

■ 基幹事業 1-A-4  
安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業

■ 基幹事業 1-A-1  
安城桜井駅周辺地区((都)安城蒲郡線ほか7路線)

○ 効果促進事業 1-C-2  
公園整備事業(桜井駅周辺地区)

○ 効果促進事業 1-C-1  
公園整備事業((仮称)明治本町地内公園)

凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	基幹事業
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span>	関連社会資本整備事業
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:white; border:1px solid black;"></span>	効果促進事業

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 安心・快適な、賑わいあふれるエコまち“あんじょう”(第5回変更) 事業主体名: 安城市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○